

胃部X線(バリウム)検査を受けられる方へ

～裏面も検査前に必ずお読みになり、別紙両面「胃部X線(バリウム)検査前の確認票」及び「胃検診受診票」の**太枠内**を**黒ペン**でご記入下さい～

I. 胃部X線(バリウム)検査について

胃部X線(バリウム)検査は、胃・十二指腸の病気の発見と診断のために行います。バリウムの水分は大腸で吸収されやすく、普段便通が良い方でも空腹でバリウムを飲むため、バリウムが出づらくなる事があります。バリウムが出ない時は、まれに腹膜炎や腸閉塞、消化管穿孔等の重篤な偶発症を引き起こし、手術や人工肛門が必要となるおそれがあります。そのため、検査後は下剤と一緒に渡す「胃部X線(バリウム)検査終了後の下剤と水分摂取の注意事項」をお読みになり、普段よりも多めの水分摂取を心がけ、すみやかにバリウムを排泄するようにして下さい。

II. 胃部X線(バリウム)検査前の注意事項

	検査前日	検査当日(朝)		検査直前
タバコ		* 起床後から検査終了までは 禁煙 して下さい。喫煙により胃液が増え検査精度が低下します。		* 禁煙
食事 飲水	<ul style="list-style-type: none"> * 食事は午後9時までに、消化の良いものを食べて下さい。 * アルコール類は控えて下さい。 * 午後9時以降は、食べ物(ガム・飴等を含む)、水以外の飲み物(お茶・コーヒー・炭酸水等含む)は、摂らないで下さい。 * 水は飲んでもかまいません。 	<h3>絶飲食</h3> <p>* <u>ただし脱水予防のため、検査2時間前までに、コップ1杯(200ml)程度の水をお飲み下さい。</u> : それ以降は水も飲まないで下さい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> * 専用の検査着に着替えます。 * 診断の妨げになる物は、外して下さい。 ・ ボタンやホック、金具等のついている衣類や下着 ・ コルセット ・ 時計 ・ アクセサリー(膺ピアス・ネックレス等)
薬	いつも通り服薬して下さい。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○ 服薬してもよい薬</p> <p>高血圧の薬・心臓病の薬・血液サラサラの薬 精神安定の薬・喘息の薬・喘息吸入薬の使用 <u>てんかん・けいれん止めの薬</u> : 発作予防のため : 主治医より、朝服薬指示のある方は、検査2時間前までに、コップ1杯程度の水で必ず服薬して下さい。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>× 服薬してはいけない薬</p> <p>胃薬(胃粘膜保護薬) : 胃粘膜にバリウムが付着しづらい 糖尿病の薬・インスリン注射の使用 : 食事をとらない場合、低血糖の可能性があるので 服薬(使用)不可 : どうしても、朝服薬(使用)しなければならない方は、主治医のもとでの胃検診をお勧めします。</p> </div> </div>		
		* その他の薬は検査終了後に服薬して下さい。薬の服薬等について不安のある方は、主治医へ確認して下さい。		

III. 胃部X線(バリウム)検査後の注意事項

- * 検査当日はアルコール類を控えて下さい。アルコールを摂取すると脱水状態になりやすいため、バリウムが出づらくなる事があります。
- * 検査後に、腹痛や気分が悪い等の症状、検査後1日を経過しても白っぽい便が出ない等の症状がある方は、夜間や休日でもすみやかに救急病院を受診して下さい。診察医師へは、胃のバリウム検査後である事を伝えて下さい。
- * 検査後数日は、バリウムが胃や腸の粘膜に残りやすいため、便秘にならないよう気を付けて下さい。
- ★ 授乳中の方は、下剤をもらう際にお申し出下さい。専用の下剤を用意しています。

胃がん検診のお知らせ①